

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）47

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43847

山岸元總理・ラスクマクナマラ両長官会談(昭四二・三・二三)

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外官
務務次房
臣官官審長

総入計
備文会厚

国参資
長調

ア参北東
長中(西)

北米参保
長北

中参南旅
長總往

欧参英
長西(南)

近参
長

経参通米
長統ラ

協参経(賠)
長政技(賠)

参参協
長余(調)

同参経科軍
長

参参内
長道外

文文
長

総番号 (T A) 10803 主管
67年3月25日16時30分 ワシントン 発 米北
67年3月26日00時04分 本省 着
外務大臣 武内 (大使) 総領事 臨時代理
岸元総理とラスク国防長官及びマクナマラ
国防長官との会談について

第82号 大至急 (至急) 普通 LTT
キシ元総理は23日午前ラスク国防長官と約1時間、午後
マクナマラ国防長官と約40分じゆん然たる私人の資格に
おいてと断つた上要旨次の如く会談された。当方より本使
及びカワベ参事、同席、通訳にはチバが当つた。
1. ラスク長官との会談。(スナイダー日本部長同席)
(1) ベトナム問題
キシ元総理(以下「当方」)より昨日大統領からグアム会
談にてベトナム問題につき明るい明通しが得られたとの
お話しをたまわつたと述べたところ。「ラ」長官(以下先
方)より戦況は暗かに明るくなっており、押取文書によ
ると南越でのベトコンや北越軍のひ害はじん大であること
が立証されるが、その反面ハノイへの報告の写を見ると然
々事実と違つらつ間的なものが多く、この点北越指導部は
必ずしき事実を正確にはあくしていないのではないかと
の疑がこく。これでは和平の見通しは明るいとは言えない
旨を答えた。ついで当方より従来米朝批判一点ばかりであつ
た日本のマスコミもぜん次報道ぶりが変り、この為日本の

(1) 外務省

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

一般世論も和平の速やかな到来を希求しつつ、米国の真意
を理解し、その行動をやむを得なあものと思うようになって
いる旨説明し、ともかく米朝が目的をかん徹し、なるべく
早期に和平を実現されたい旨要望した。

(2) 中共問題
(イ) 先方の質問に答え、当方より従来ジャーナリズムや
インテリ層はしん中共的傾向が強かつたが、新聞が文化大
革命の実情を正しく報道するようになって、しん中共分子
の声も小さくなり、国民の中共に対する見方も変つて、先
般総選挙での自民党の好成績もその一結果であると説明し
た。

(ロ) 先方より、世界の最重要課題はこう究平和の確立で
あるが、戦後20年を経て米国はソ連東欧との間に互に行
動をつつしみ合うという関係に到達した。しかしこれは一
朝にしてなつたのではなく、米朝がイラン、トルコ援助、
ギリシャ、マラヤ内乱、ベルリン危機、朝せん戦争、コン
ゴ動乱、キューバ危機等々いくたの試練にくつせず、き然
としてきたからである。今やわれわれは太平洋での平和作
りが課題だが、中共は米国と日本をはじめタイ、韓国、ベ
トナムその他自由諸国との同盟関係が無意味なものだと思
うようでは平和の望みはうすい。しかし逆に中共が太平

(2)

外務省

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

洋諸国の自立防衛の決意が固いことをさとれば、あるいはソ連、東欧の如くしん重になるかもしれない。以上は複雑な事象をあえて単純化して申し上げるが、こう究平和の確立につながるからこそベトナム問題は南越一国をちよう越した重要性をおびるのである。この意味で日本がアジア、太平洋の自由諸国の自主的協力達成に示しつつある指導性は高く評価すべきであり、ぜひ続けてほしいと述べた。

(ハ) ついで先方よりソ連の指導者はボリシェビキ、生残りのミコヤンを最後として第2世代に入ったが、中共は未だ長せいのベテランがぎゆうじつているところ、いずれ年月の経過と共に指導権を取るべき現在50さい台の第2世代はいかなるものであると思われるかと質問した。これに対し先方よりただ今の文化大革命は第1世代の毛・リンと、リュウ・トウと、シュウオンライ、チンキの間の3つどもえの権限とう争であり、その結末は何人も予言出来ないが、少しく希望的に観測すればやや世界情勢に通じ国際共闘的傾向のあるシュウ、チン派が将来の中共の進む道を示すのではないか、第2世代もかかる傾向を見せるのではないかと思ふ旨答えた。

(ニ) 先方より、中国は歴史的にプラグマティストであり、ただ今の指導者でさえ口はともかく行動はしん重である。だれが中国の指導権を取つたにしても、10倍になら

(3)

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

んとする人民をやしなうというおそるべき重にを前にしては実理的にならざるを得まい。これに関連し極秘に申上げるが、先般のコスイギン訪英の際、コはしきりに毛たく東が何にかきようきじみた事むしてかすりではないかとその非合理的行動を気にしていた由である、と述べた。当方より、ただ今の権力とう争の過程で中国人民の力を結集するため対外ほう険主義の如き非合理的世論が行われる可能性は絶無でなく、その影響するところはアジア及び世界全体に及ぶが、かかる事のないよう望むと共に、各国の協力が必要であると思ふ旨コメントした。

(ホ) 先方よりるい次の米中会談で新聞記者、科学者等その他の交かんより相互接しよくをあげたいと試みたが、中共側は常に台湾を返せの一点ばかりで話しにならず、不成功に終つていると説明した。

(ヘ) 先方より、日本国民は中共の核開発の為不安におち入っているか、それとも逆にこれをれいせいに受取つているかと問い、先方より当初の予想をうら切り日本人は比較的れいせいであるが、これは専守防衛条約により米国の核のかさの保護の下にあるという安心感と中共の核戦力は米国に比べればとるに足らないものであると言う認識による旨答えた。

(3) 日米関係

(イ) 先方より総選挙の結果日本の政局は安定を保つかと

(4)

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

問うたので、当方よりこれをこう定し、これをはい景に日米兩國が素直に意見を交かんし、協力する状態が続こう。と説明した。これに対し先方より米国としてはサトウ総理との間に素直にして内密なる接しよく関係あり、総理より何にもかくさずお教えていただき、米側からも極めて重要な情報を提供している旨述べ、当方より相互信頼に立ち素直にものを言い合うことが政府間のみならず兩國の民間有力者間においても必要であると述べた。

(ロ) 当方より日米安保条約は1970年で10年の安定期間を終るが、1960年以来情勢は大いに変わり国民は今や本条約が有用であるとの認識を持つに至り、社共両党等一部の反対を除き圧倒的多数はこの存続をほつしている。ただし70年以後自動的更新にまかせるか、更に10年程度の安定期間を設けるかという方法論上の考え方の差があると述べた。先方はこれに対し条約の改正ということになれば米議会上院にかけられるが、議員の中には本条約は米国の日本防衛義務のみを規定した一方的、人道的なものであるとの意見をもつ者が相当いることをよく考えておく必要がある。条約の存続こそ大切であり、その方法は両政府間の話し合いにより決められるが、そつ直に言つて自分は改正うんぬんということについてはどうも気がかり(ナーパス)であると強調した。

(5)

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(4) 核不拡散問題

(イ) 当方より御承知の通り日本国民は他国民以上に核問題につきしん経質であり、原せん寄港反対さわざもその一例だが、最近一般の理解も進み核問題をれいせいに議論できるようになった。歴代内閣は日本の核武装を否定しつつも原子力の平和利用については研究を進め産業及び国民生活向上に利用せんとしている。日本人は平和利用一本で進むと共に核軍縮による核兵器全廃を望んでいる。この意味で核拡散防止条約のせいしんは何人も反対していない。しかし、条約の規定によつて平和利用がさまたげられるおそれはないか、また核保有国の軍縮義務は如何に定められるのかを心配している、と述べた。

(ロ) これに対し先方より先ず平和利用についてはドイツ、イタリアも問題にしているが、米国自身不拡散条約は絶対に平和利用をさまたげてはいけないう決意をもっていることをはつきり申し上げたい。現在査察制度が結果的に産業スパイを容易にするのではないかなどと問題になっているが、かかることはもち論絶対にあつてはならずこれは技術的に解決できる問題である。われわれは不拡散条約は弾頭に限られるべきであると信じていると述べた。

(ハ) 次に先方より核軍縮について、米国は政策としてこれを受入れているがその実現はまことに難しい。例えば

(6)

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

日からA B Mにからむ米ソ間の話合いが始つているがどんな進ちよく振^レを示すかは全く分らない。とにかく一歩一歩かかる努力を積み重ねた上核兵器の制限にぜん次持つていかねばなるまいがこの話にフランスや中共が入つていないので解決は一層困難である。それにしても1946年のバルック提案が受入れられなかつたのはひげきである。米国としては核保有国は1国でも多すぎる位で2カ国とか5カ国ももとより、10-20カ国にてもなれば言語道断であると思つている、と述べた。

(=) 更に先方は軍縮問題というのは、関連した他の若干の問題が解決しない限り結着が付かないものである。ドイツ問題がその一つで、今や米ソ2国間限りでは戦争を起さねばならぬような問題はないが、ドイツの如き第3国の安全保障問題では武力に訴えるおそれがある。これさえかた付けば大変なものだが早急に解決は期待できないのは明らかであらうしやはり核とドイツ問題と両方の解決をへい行して進めねばなるまい、と述べ、これに関連してスターリンのムスメの亡命は米国ちよう報機関のほう略でもなく勝利でもないが、米ソ国交上の問題化していないのは注目すべきであると指摘した。

(5) 総理への伝言

最後に当方よりサトウ総理へ内内伝えるべきことありやと

(7)

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

問うたところ、先方は総理は最近の情勢はよく御存知のはずではあるが、(イ)北越はジョンソン、ホー管筒公表を機に従来の米国との接触を一切絶ち切り、~~ここ2-3日~~2-3日以來すべてのルートがと絶えていることをお伝え願いたい。その理由は中共がこの接触を発見して圧力をかけたことによるのか、南越人民解放戦線が接触のうわさにしん経質となつたからか、あるいはその他何か大きな動きでもあるのか、一切不明である。なお右に関連し、中共軍の南方移動の気配は全然なく、従つて東南アジアかい入のおそれはないものと見ているが、重要な変化があれば更にお知らせする。

(ロ) 他方総理が中共に出入りする多くの日本人から東南アジアに関連する重要情報でも入手されることがあつたならば教えていただきたい。

2. マクナマラ長官との会談 (マクノートン国際安全保障担当次官補ほか担当官同席)

(1) ヴイエトナム問題

(イ) 当方よりグアム会議の成功をしゆくしたところ、「マ」長官(以下「先方」)はヴイエトナムの政治軍事情勢ともに好転しているが、これはそのまま戦争終結につながるという訳ではない。北越はがん強に戦争継続の意思を棄てていないが、なぜそ^レなのか、米側には全く不可解であ

(8)

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

る。と述べた。当方より常識から言つて北越が戦いを続け
ても望ましい結果が出るはずはないが、とコメントしたと
ころ。先方は北越がばく大なぎせいを払つても情勢はよく
ならないのに戦いを止めない理由は全く分らず、米側はこ
の点めくら同様であるが、これは米、北越双方にとって危
険である。と述べた。

(ロ) 当方より日本も北越と若干の接触を試みたが、特に
思わしい結果もなかつたようだと指摘したところ。先方よ
り何か米政府に対する御助言はいただけまいかと述べたの
で。当方より米国としてはただ今の軍事的努力を続けると
共に政治面では南越での社会的、経済的措置を通じて民心
をしようあくし、もつて事実上平和が到来するようにする
ほかないのではないかと答えた。

(2) 日本の役割

(イ) 先方より日本が将来極東地域において政治、経済、
軍事各方面にわたり大きな役割を演ずると思ふがいかと
質問したので。当方より日本はアジアの安全について責務
を負わねばならないところ。政治、経済、文化面について
はつきりした役割があるが軍事面では憲法改正がない限り
言うにたる活動はなし得ないと答えた。

(ロ) 先方より更に政治上いかなる措置をとることとなる
かと問うたので。当方より第一に自由世界の政治的団結を

(9)

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

固めることである。閣僚レベルの会議のほか議会同盟のご
とき協力方法もあり理解を増進してゆくべきであると答え
たところ。先方はベトナム戦終了後南越、タイ、カンボジ
アなどのごとき国国の中立と国境の保障に日本も協力する
ことはいかんと問うた。よつて当方よりこれらの国境の保
証なくしては東南アジア、特に中共しゅうへん諸国の安定
は考えられない。日本は右について軍事的こうけんはでき
ないが政治的な会議の面などではこうけん可能であると答
えた。

(ハ) 先方よりこれに対して、長期的に見て米国民は米国
が単独で東南アジア防衛の重にをせ負うことはがまんしき
れず、もはや米政府にこれを許さなくなるだろう。このた
め東南アジアの中立保証は他の国々、特に日本が役割りを
演ずる他方、日本が憲法上の制約のワケ内でも、政治会議
において例えば国境の侵犯の有無、軍事的援助条項の発動
の可否など、日本が加わらねばできない決定に参加して行
くべきではないか、とのべた。

(3) オキナワ問題

(イ) 当方よりオキナワの返かんは現地住民のみならず日
本国民をあげてのひ願であり、もとより現在の情勢ではそ
の早急な実現は不可能であるが、しかし将来を展望した場
合、貴長官としては、一体今後どの位の期間米国はオキナ

(10)

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

に基地を保有する必要があると思われるかと質問した。
 (ロ) これに対し先方は、以下はじゆん然たる私見であると前おきして、オキナワ問題につき日米双方に誤解があるようだが、自分としては、一口に言つて、日本が米国の基地保有をほつしなくなつた日から一日といえども長くは居るべきではないと思う。米国はサンフランシスコやハワイの防衛のためにだけなら、オキナワに居る必要はない。日本と東南アジアの前進防衛のためにこそオキナワに居るのである。だから日本が米国の存在をほつせずこれを許さないなら、米軍にとつてのリスクを最少限度にする意味からだけでも、居すわることなく率直に言つて、日本に防衛の責任を引ついでもらふべきである。

(ハ) 私(「長官)が日本に言いたいことは、米国と政治的関係で協同しつつ、軍事面にもこれを及ぼさんとするに日本が賛成なら、われわれはオキナワに止まるまであるが、然らざれば引きあげる、ということである。かん言すればオキナワに居てもいろいろな制約が大きすぎて不必要な軍事上のリスクを負わねばならぬ位ならば残る考えは全くない。これも米政府の公式見解ではないが、私は日本政府は米国のオキナワにおける存在についても、現地における米側の軍事活動への制限についても、これらの決定に関しより大きな責任をとつていただくべきだと思ふ。

(11)

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

また日本は将来アジアで今のアメリカに比べたはるかに大きな役割を果して行くと考へ、かかる意味でベトナムについても日本はほう顧ばかりもしておられなくとも思うとのべた。

(ニ) 当方より貴見に賛成である。オキナワについては感情論によることなく両国の政府のみならず民間でも率直な話し反により相ごの誤解を解いて行かねばならない。日本人でももの分つている人は米国が利己的動機でオキナワを占拠しているのではなく、日本やアジアの安定と安全保障のためにいることを理解しているが、一般世論はなかなかそうは行かないからである。とのべた。

(ホ) 先方は、とにかく日本官民とも米国がオキナワに自らの主権と政治的権力を行使するものではなく、また持とうとしてもきゆう極的にはとうていできないことをはつきり理解していただきたい。米側としては他國の主権の下に現地に居る場合その國がこれをほつせず、また効果的な軍事活動とすべきでないような状況であるならば居続けることはできないのである。とにかくこの問題についてはおたがいに早急に今後1年(2年)ないし5年の間に方針を決めて行かねばならないと思ふとのべた。

(4) 日本の防衛努力とアジアの安定
 (イ) 当方より、日本政府は今国会に第3次防衛力整備計

(12)

